

現代アートと金山が交差する！

## 「アートリンク金山」 イベント詳細決定

※「アートリンク金山」の開催決定については、2024年7月18日付けで公表

現代アートと金山が交差する！

アート  
リンク  
金山  
Art  
Link  
KANAYAMA  
2024.11  
NOVEMBER 2/3/4/9  
SAT SUN MON SAT  
【名古屋コレクション2024】  
[NAGOYA ART COLLECTION 2024]



会場：金山南ビル美術館棟（旧名古屋ポストン美術館）

金山エリアには、市民会館、音楽プラザ、金山南ビル美術館棟などの文化拠点が集積しています。芸術によるさらなるまちの活性化や、新たな劇場の整備やアスナル金山の再整備を核としたまちづくりに向けた検討がすすめられている金山の未来をともに考えるきっかけとして、「アートリンク金山」を開催します。

参加型アートプロジェクト「かなやまじんくらぶ」ではアーティストと市民によるプロジェクトの集大成として11月9日（土）に「かなやまじんくらぶまつり」を行います。音楽ライブやトーク、「ZINE」と呼ばれる手作り冊子の展示などを行い、どなたでも気軽に文化やアートを楽しんでいただける空間を創り出します。

11月2日（土）には「まちづくりとアートの現在・未来」と題したトークイベントを行います。内容は、名古屋市担当者による名古屋市文化芸術推進基本条例の内容と金山地区の再開発計画に関する説明、旧名古屋ポストン美術館館長・馬場駿吉氏による基調講演、まちづくりとアートに関わる民間キーパーソン4名によるトークセッションとなります。

また、11月2日（土）から4日（月・祝）にかけて行われるアートフェア「NAGOYA ART COLLECTION 2024」では名古屋市内の主要ギャラリーによる出展作家が決定しました。

現在注目を集めている金山地区と文化芸術を通じたまちづくりに理解を深める絶好の機会です。11月初旬の秋の季節に、ぜひ金山へと足をお運びください。

### ■ アートリンク金山特設サイトがオープンしました！

各イベントの詳細情報はこちら → <https://artlinkkanayama.jp>



### ① かなやまじんくらぶ 一まちを歩いて本を作ろうー

金山のまちのリサーチと ZINE 制作プロジェクト



参加型アートプロジェクト「かなやまじんくらぶ」ではアーティストと市民が一緒に金山のまちをリサーチして ZINE\*を制作し、その結果を子どもから大人まで楽しめる「おまつり」のかたちで発表します。おまつり当日の11月9日（土）は ZINE の展示やトーク、音楽ライブなどで金山のまちを表現します。観光案内や地域情報誌とはひと味違う、金山の魅力を味わってください。

\*ZINE（ジン）とは、個人やグループが自由な手法、テーマで制作した冊子。

## 【開催概要】

名称	かなやまじんくらぶまつり
日時	2024年11月9日(土)11:00~19:00(予定) ※11月3日(日)~4日(月・祝)はZINEの公開制作を同会場で実施予定。
会場	金山南ビル美術館棟(旧名古屋ボストン美術館)3F
入場料	無料/予約不要
内容	ZINEの展示、プリントワークショップ、参加アーティストによるトーク、音楽ライブなどを行います。
参加アーティスト	一〇六印刷団(山口麻加(版画家)、嶋崎出(印刷家))、河部圭佑(建築家)
企画監修	服部浩之(キュレーター、東京芸術大学大学院映像研究科准教授、国際芸術センター青森館長)
主催	アートリンク金山実行委員会 構成:名古屋市、クリエイティブ・リンク・ナゴヤ、公益財団法人名古屋文化振興事業団
協力	金山駅前まちそだて会、株式会社妙香園、理想科学工業株式会社

■ 大ナゴヤツアーズにて「かなやまじんくらぶ」体験ツアー(妙香園のお抹茶付)を実施します。

大ナゴヤツアーズへの参加者限定の一日体験プログラムとして、「まちに潜むグラフィック編」と題し、金山のまちの中にあるグラフィック、看板、モニュメント、建築物からさまざまな形を探します。そこから「かなやまじんくらぶ」の拠点としている妙香園本店にて、アーティストと共に「コラグラフ」という、形の型を厚紙等にくりぬき、プレス機で紙に型押し印刷する手法を使った手作業での版画・印刷・製本作業を体験しながらオリジナル ZINE をつくります。完成した ZINE はお持ち帰りいただけます。

参加者全員で完成させた ZINE は 11 月 9 日(土)に金山南ビル美術館棟で開催するイベント「かなやまじんくらぶまつり」で展示します。11 月 2 日(土)~11 月 4 日(月・祝)に開催される「NAGOYA ART COLLECTION 2024」のご招待チケットもプレゼントします。

## 【開催概要】

名称	まちに潜むグラフィックを収集！版画でオリジナル ZINE づくりツアー ~金山のまちにある看板やモニュメントから ZINE づくりのアイデアを構想！印刷アーティストと建築家の参加型アートプロジェクト(妙香園のお抹茶付)~
日時	2024年10月26日(土)13:00~16:00 ※要事前予約
参加費用	2,500円(オリジナル ZINE 持ち帰り、妙香園のお抹茶付、保険料含)「NAGOYA ART COLLECTION 2024」ご招待チケット付
定員	20人(最少催行5名)
集合・解散場所	妙香園 本店(「かなやまじんくらぶ」拠点)
アクセス	地下鉄・JR・名鉄「金山」駅より徒歩5分

ツアー詳細は大ナゴヤツアーズ公式サイトをご覧ください。

→ <https://dai-nagoyatours.jp/article/35260.html>



## ② トークセッション「まちづくりとアートの現在・未来」

名古屋市の金山地区での将来的なまちづくりを、文化芸術をキーワードに考えるアートプロジェクト「アートリンク金山」の開催にあたり、各界の有識者や実践者によるトークセッションを実施します。名古屋市からは、今年度施行された名古屋市文化芸術推進基本条例や、名古屋市民会館の建て替え等と連動した金山地区の再開発について紹介します。基調講演としては旧名古屋ボストン美術館の元館長で、評論家・コレクターでもある馬場駿吉氏が登壇、名古屋の現代美術のアーティストやギャラリーとの長年の交流を振り返ります。トークセッションでは、名古屋市の金山地区、清水・大杉・杉村地区、豊橋市のまちづくりのキーパーソンが、アートを切り口にした地域振興の実践例と今後の可能性について議論を行います。

### 【開催概要】

日時	2024年11月2日(土) 13:30~16:30
会場	金山南ビル美術館棟(旧名古屋ボストン美術館)3F
内容	13:30~13:55 名古屋市による説明 『名古屋市の文化施策～名古屋市文化芸術推進基本条例の制定と金山地区の再開発～』 [登壇者] 谷太陽(名古屋市観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化芸術推進課長) 堀啓輔(名古屋市観光文化交流局文化歴史まちづくり部担当課長)
	14:00~15:00 基調公演 『名古屋の現代美術を振り返る』 [講師] 馬場駿吉氏(旧名古屋ボストン美術館 元館長、芸術評論家、俳人)
	15:10~16:30 セッション 『名古屋のまちづくりとアートの現在・未来』 [登壇者] 田中良知氏(金山駅前まちそだて会会長) 小田井孝夫氏(2020 NAGOYA AKIYA LOOK BOOK/金城市場オーナー) 山田晋平氏(映像作家/みずのうえ文化センター) [モデレーター] 古橋敬一氏(愛知学泉短期大学専任講師)
定員	50名程度/先着順・予約不要
主催	アートリンク金山実行委員会 構成:名古屋市、クリエイティブ・リンク・ナゴヤ、公益財団法人名古屋市文化振興事業団

## 【プロフィール】

馬場駿吉氏(旧名古屋ボストン美術館 元館長、芸術評論家、俳人)



旧名古屋ボストン美術館 元館長、芸術評論家、俳人、医師(医学博士)。名古屋市立大学名誉教授(耳鼻咽喉科学)。名古屋演劇ペンクラブ理事長、名古屋造形大学客員教授。医学研究のかたわら句作。1960年代から、美術、舞踊、演劇、映像、音楽、文学などの現代芸術の最前線に立ち会い、評論やエッセイを幅広く執筆。元愛知県立芸術大学客員教授。中日文化賞受賞(2019)。

田中良知氏(金山駅前まちそだて会会長)



1998年、家業である日本茶専門店「株式会社妙香園」に入社。2020年創業105年を迎える年に代表取締役役に就任。伝統とは挑戦の連続を持って創るものと考え、暖能にあぐらをかくことなく新たな取り組みをし続ける。2021年「金山駅前まちそだて会」が発足し初代会長を務める。毎日数十万人が乗降する金山駅のポテンシャルを活かし、金山駅前地域を名古屋の玄関口とし、様々な魅力を発することで「交通拠点」から「交流拠点」へと進化させる活動をしている。

小田井孝夫氏(2020 NAGOYA AKIYA LOOK BOOK/金城市場オーナー)



2020年に北区清水～尼ヶ坂エリアの空き家をまとめた小冊子「NAGOYA AKIYA LOOK BOOK」を制作。手描きによる商品カタログ風の紙面が一部で評判を呼び、「コロッケ屋みね」「食堂酒場ケケ」「まなみ古書店」といった個性的な店舗が、空き家を改造して次々とオープン。また昭和30年創業の「金城市場」を3年かけて修復し再生。月イチ開催の「金城夜市」をはじめ各種イベントが盛況となるなど、古い町並みが残る下町エリアに新風をもたらしている。

山田晋平氏(映像作家/みずのうえ文化センター)



愛知県豊橋市在住。演劇やコンテンポラリーダンスを中心に、様々な舞台芸術の上演内で使用される演出映像の製作が専門。近年では、現代美術家とのコラボレーションによるプロジェクションマッピング作品や、演劇作家との映像インスタレーションなどの製作も行う。また、劇場や美術館にとどまらず、まちなかの建物や生活空間にまで表現の場を広げ、サイトスペシフィックなアートプロジェクトの企画・監修なども行っている。

古橋敬一氏(愛知学泉短期大学専任講師)



アラスカ留学にて先住民族の文化再生運動に多大な影響を受ける。帰国後、大学院にて多様な社会活動に没入。2008年より名古屋市内のまちづくり団体にて現場マネジメントに従事。2022年より、大学教員としての新境地に挑んでいる。人と社会とその関係に関心がある。博士(経営学)。クリエイティブ・リンク・ナゴヤ理事。

### ③ NAGOYA ART COLLECTION 2024

名古屋の主要なアートギャラリーが集結するアートフェア



コンテンポラリーアート隆盛の地である名古屋。その原動力のひとつは魅力的なギャラリーが数多くあることです。名古屋では1980年代からさまざまなアートフェアが開催されています。今回の新たなアートフェア「NAGOYA ART COLLECTION 2024」には名古屋が誇るプライマリーギャラリーが集結。過去のレガシーを組み合わせながら、名古屋のアートシーンの活性化を目指します。

NAGOYA ART COLLECTION 2024 公式ウェブサイトがオープンしました！

アートフェアの詳細情報はこちら → <https://artfair-nac.jp>



#### 【開催概要】

名称	NAGOYA ART COLLECTION 2024
会期	2024年11月2日(土)～4日(月・祝) 2日(土)11:00～14:00 / プレビュー(VIP・プレス関係者) 2日(土)14:00～18:00 / 一般公開 3日(日)11:00～19:00 / 一般公開 4日(月・祝)11:00～17:00 / 一般公開
会場	金山南ビル美術館棟(旧名古屋ポストン美術館) 4F
入場料	1,000円
販売方法	電子チケットサービス(ArtSticker)にて9月14日(土)から販売。紙チケットは公益財団法人名古屋文化振興事業団チケットガイドおよび文化施設窓口、愛知芸術文化センタープレイガイドにて事前販売。当日は会場受付にて販売。
出展者	計14ギャラリー： GALLERY IDF、AIN SOPH DISPATCH、Gallery HAM、KENJI TAKI GALLERY、 JILL D'ART GALLERY、Gallery NAO MASAKI、GALERIE hu:、GALLERY APA、 gallery N、名古屋画廊、LAD GALLERY、art gallery Komori、 GALLERY UTSUROBUNE、SUBMARINE GALLERY
主催	アートリンク金山実行委員会 構成：名古屋市、クリエイティブ・リンク・ナゴヤ、公益財団法人名古屋文化振興事業団
企画・運営	NAGOYA ART COLLECTION 2024 実行委員会
問合せ先	NAGOYA ART COLLECTION 2024 実行委員会事務局(GALLERY IDF 内) 〒465-0051 名古屋市名東区社が丘1-201 IDFビル2F TEL:052-702-1206 E-Mail:info@artfair-nac.jp

※内容は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。